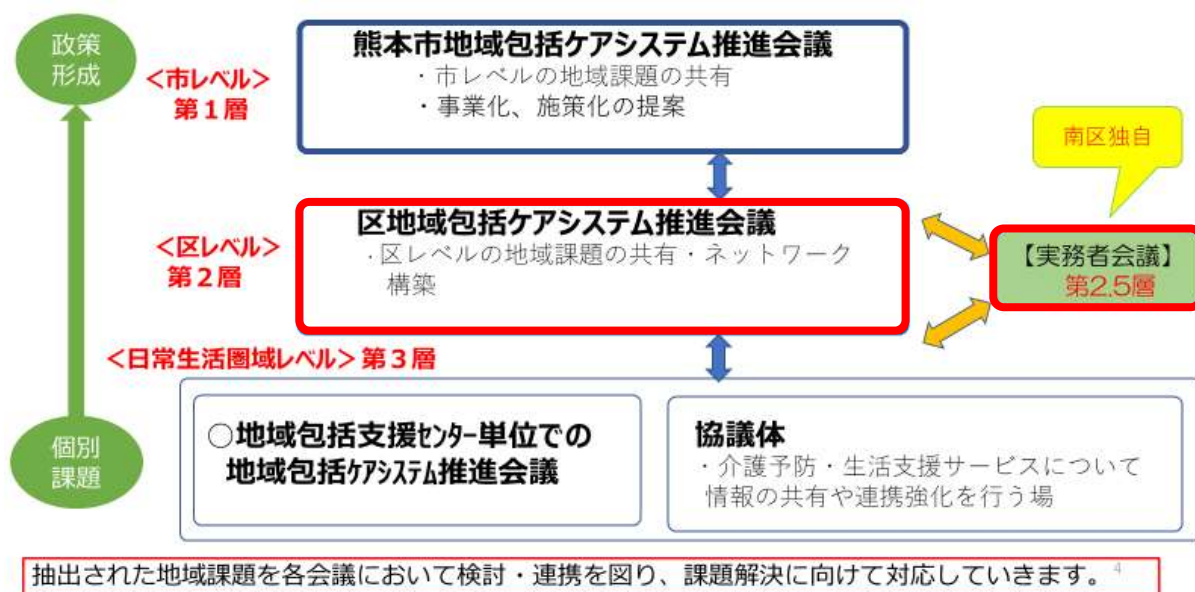


報告 令和4年度 南区地域包括ケアシステム推進の経過・下半期の取組

南区地域包括ケアシステム推進の体制

推進体制図



※ 前回会議資料の再掲

取組方針 1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり

(1) 介護予防事業の取組

推進方針の取組1「介護予防」の中で、高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり、「住み慣れた地域で、近隣や仲間と一緒に主体的に健康づくり・介護予防に取り組む機会の充実」を目標に取り組んでいる。

① 老人クラブの活動状況

ささえりあ圏域	担当 校区数	老人クラブ 数		老人クラブ 会員数		老人クラブ 行事開催回数	
		H31 年度	R3 年度	H31 年度	R3 年度	H31 年度	R3 年度
南1（富合）	1	16	15	453	395	528	382
南2（幸田）	4	18	18	955	896	1,192	661
南3（熊本南）	6	29	27	1,366	1,158	1,129	749
南4（飽田）	3	11	11	445	363	372	268
南5（天明）	4	18	17	685	606	629	360
南6（城南）	3	22	20	895	741	688	587
計	21	114	108	4,799	4,159	4,538	3,007

② 高齢者サロンの活動状況

高齢者サロンとは

高齢者が気軽に楽しく集える場所として、校区社会福祉協議会などの地域団体を中心に、各地域で取り組まれているものです。南区では114か所（令和3年度）でこのようなサロン活動が開催されています。活動内容は自由で、手芸などの趣味活動やレクリエーション、茶話会のほか、運動などの介護予防活動に取り組むグループもあります。

ささえりあ 圏域	高齢者 サロン 団体数	高齢者サロン 実施状況（ささえりあから聞き取る）
南1 （富合）	14	H31年度は、通常通りの開催だったが、R2.5以降R3年度いっぱい、 完全休止したサロンが6団体 あり、他はコロナ感染症自粛要請にあわせた開催をしている。 会員数、利用者の減少 がみられる。
南2 （幸田）	21	R3年度は、コロナウイルス感染症の影響で、 12団体が活動を休止 して現在に至る。活動している団体も、介護認定を受けたり、疾患で入院等になるなどで、 利用者が減少 している。新規参加者が増える状況にはない。
南3 （熊本南）	34	R3年度は、コロナウイルス感染症の影響で、 3団体が活動を完全休止 。他団体は、出来るときに実施しているが、 利用者が通常の半分から、2/3 である。理由はコロナ感染症が怖い、意欲の低下など。新規にサロンに繋ごうとしても、休止期間中であり、勧められない現状があった。

南4 (飽田)	9	3か所がR2.3～現在まで活動休止中。他のサロンも、R3年度は、コロナ感染症の蔓延のため、活動回数を減らし実施。
南5 (天明)	6	H31年度後半（11月頃）から3か所がコロナウイルス感染を避けるため自主的に活動を休止。小規模サロンを除き、R3年度もほとんど活動休止。
南6 (城南)	30	コロナウイルス感染症での緊急事態宣言発令中は、地域公民館が使えず、すべてのサロン活動が休止となった。公民館が使えるようになっても半数は活動を見合わせ、参加者も減少した。参加者の欠席理由として、罹患したくない、家族に止められたというのがあった。
計	114	

③ くまもと元気クラブの活動状況

くまもと元気クラブとは

参加人数が概ね10名以上で、その半数以上が65歳以上で、市が推奨する運動を、住民主体で、概ね週1回以上実施できている団体を対象として、熊本市が補助金を交付している活動です。

管轄さきえりあ	元気クラブ名	実施回数		参加者数（延）	
		H31年度	R3年度	H31年度	R3年度
南3 (熊本南)	いきいき元気クラブ三喜会	45	22	1,117	342
	日吉東3町内げんきクラブ	46		1,027	
	元気くらぶ島町	43	21	738	421
	野田町優友会	42	18	772	336
	上ノ郷元気クラブ	45	0	1,093	0
	コスモス	39	23	572	268
	野田町友心会	47	12	867	118
	大渡いきいき元気倶楽部	26	28	446	307
	岡町元気クラブ		21		218
	筋トレくらぶ		23		255
	力合元気クラブ・筋トレ会		25		266
南4 (飽田)	飽田筋トレクラブ(A)	43	22	766	330
	飽田筋トレクラブ(B)	43	22	1,483	841
	甲島口元気くらぶ	40	20	458	170
	フキの花元気くらぶ	29	21	298	250
総計		488	278	9,637	4,122

④ 地域支え合い型通所サービス（通所型サービス B）実施状況

地域支え合い型通所サービス（通所型サービス B）とは

「介護 予防・生活支援サービス」の 1 つとして「住民主体」による地域の支え合い体制の中で運営するサービスです。主な対象者：総合事業対象者または要支援 1, 2 の認定を持っている方 開催頻度：週 1 回以上 人数：5 人以上/月 開催時間：3 時間以上/回
 活動内容：体操・運動等の活動、趣味活動を通じた日中の居場所づくり の条件を満たした団体に熊本市が補助金を交付している活動です。

管轄ささえりあ	クラブ名	設立日	R3 年度 実施回数	R3 年度 参加者数
南 1（富合）	とみあいば支え合い隊	R1.12.6 設立	1 9	1 3 7
南 3（熊本南）	上近見健康カフェ	R2.4.1 設立	2 2	4 1 3
	白藤団地元気カフェ	R1.11.6 設立	2 4	6 4 6
南 4（飽田）	会富町いきいき元気クラブ	R2.10.1 設立	2 1	3 0 2
計			8 6	1, 4 9 8

取組方針 2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する
市民が安心して暮らせるまちづくり

(2) 医療介護連携分野に関する普及・啓発

① 医療介護連携分野における実務者会議

令和 2 年度から始めた医療介護分野における第 2.5 層実務者会議を引き続き開催。
「第 2 回 南区人生会議の日」のイベント開催後の振り返りや令和 4 年度及び 5 年
度に向けた取組内容について協議。

<開催状況>

上半期： 4 回（5 月 24 日、7 月 26 日、8 月 30 日、9 月 27 日）

<参考> 令和 2 年 9 月から開始し、令和 4 年 9 月末現在で 合計 13 回

下半期： 4 回〔10 月 19 日、11 月 29 日、1/31, 3/14〕

<参加者数>

上 半 期	開催日	5 月 24 日	7 月 26 日	8 月 30 日	9 月 27 日	合 計
	参加者数	16 名	8 名	16 名	17 名	57 名

下 半 期	開催日	10 月 19 日	11 月 29 日	1 月 31 日	3 月 14 日	合 計
	参加者数	14 名	16 名	11 名	14 名	55 名

※上記のほか、令和 4 年 9 月 27 日（第 4 回）からオブザーバーとして 1 名参加。

② 地域住民等に対する人生会議セミナー

南区には、6 つの地域包括支援センターがあり、令和 3 年度から毎年 2 つの包
括支援センターを重点地区と位置づけ、「人生会議セミナー」を実施した。

<実施状況>

年度	モデル地域	上半期	下半期	合計
R3年度	飽田・天明地域	—	4か所（135名）	4か所（135名）
R4年度	幸田・熊本南地域	7か所（202名）	3か所（59名）	10か所（261名）
合計		7か所（202名）	7か所（194名）	14か所（396名）

※ 資料1 令和4年度「人生会議セミナー」アンケート結果報告（下半期）を参照

③ 第2回 南区人生会議の日

令和2年度から、南区では医療・介護に携わる関係者とともに、「医療と介護に関する分かりやすい啓発」を目指し、「在宅医療」や終末期医療に伴う「人生会議」の大切さ、「メッセージノート」について知っていただくことを目的としたイベントを開催した。

【日時】 令和4年（2022年）11月12日（土）10時～12時

【場所】 アスパル富合ホール

【参加者】 南区管内にお住いの地域住民等 223名

【内容】 「第2回南区人生会議の日」

～ あなたの想いをつなげるために はじめの一步 ～

- (1) 講演 「人生会議」
- (2) 講演 「在宅医療ってどんな医療？」
- (3) 体操でリフレッシュ
- (4) 寸劇 「家族会議」～はじめの一步～
- (5) 体験 書いてみましょう 「『私の想い』手帳」
- (6) アンケート調査

1. 講演 「人生会議」

～ これからの人生「最期はどこで、誰と、どのように」迎えたいですか？ ～

にしくまもと病院名誉院長の林茂医師から、ご自身の体験談を踏まえながら「医師の役割分担やかかりつけ医・主治医」、「看取り」、「人生会議（家族会議）の大切さ」について、分かりやすく講演。

参加された方からは、「実体験をもとにお話しいただき、分かりやすかった」、「とても良い話で理解できた」、「自分の意志を書いて残すことの重要性がよく分かった」などの声をいただいた。



【「人生会議」の講演の様子】



【真剣に講演を聞き入る参加者】

2. 講演 「在宅医療ってどんな医療？」

ひまわり在宅クリニック院長の後藤慶次医師から、「在宅医療とは」、「在宅での看取り」、「在宅緩和ケア」について、日ごろ先生が携わられている訪問診療の現場での様子を説明の上、講演いただいた。

参加された方者からは、「説明がわかりやすく、とても聞きやすかった」、「在宅医療の仕組みや看取りの心構えが理解できた」、「話を聞いてよかった、安心した」などの声をいただき、多くの方が「在宅医療」について理解を深めることができた様子。



【「在宅医療ってどんな医療」の講演の様子】

3. アンケート調査

参加者 223 名のうち 188 名 (84.3%) の方にご協力いただいた。

※ 資料 2 『第 2 回南区人生会議の日』アンケート結果報告』を参照

4. その他

熊本市（南区）のホームページに「第 2 回南区人生会議の日開催！」を掲載。
また、併せて動画も掲載している。

<参考>

南区ホームページ TOP > 分類から探す > 健康・福祉・子育て >

健康・医療 > イベント・講座・講演会 > 第2回 南区人生会議の日 開催！

④ (研修会)「みんながまるに みんなで看取り」

南区内の医療介護に携わる多職種の皆さんを対象に、ひまわり在宅クリニック院長の後藤先生の説明や事例紹介、グループによる事例検討等により、ケアするみんなが安心して関わるができるようにするための研修会を、南区地域包括ケアシステム第2.5層実務者会議（みなまる会議）メンバーを中心に、企画し開催した。

【日 時】 令和4年10月21日（金）18：30～

【場 所】 アスパル富合 ホール

【参加対象】 南区圏域の多職種（看護師、介護職、介護支援専門員 等）

【参加者数】 77名

【内 容】 『看取りの時期に関わるケアスタッフの心がまえ』



⑤ (研修会) 南区在宅医療介護研修会『理想の在宅医療を目指して』

理想の在宅医療介護については、職種間での認識の違いも見受けられることから、事前に視聴した映画（DVD）を基に、在宅医療・介護における多くの課題について、熊本大学病院緩和ケアセンターの吉武教授を座長に迎え、様々な意見交換を通して共通認識を持つことができるようにすることを目的として研修会を開催。

【日 時】 令和5年3月5日（日）10：00～12：00

【場 所】 アスパル富合 研修室

- 【目 的】
- ① 在宅医療に携わってる人が、「在宅看取り」、「平穏死」に関する共通の認識を持つ。
 - ② 住民の「在宅医療」、「平穏死」に関する意識の向上を図る。
 - ③ 理想とする「在宅看取り」、「平穏死」に近づけるための現状の課題を挙げ、具体的な改善策、取り組みの情報共有を図る。

【参 加 者】 2.5 層実務者会議メンバー、同メンバーから推薦を受けた方及び「第2回南区人生会議の日」のスタッフ 計41名

【内 容】 (1) グループワーク

6グループに分かれ、2つのテーマについて討議・発表。

<テーマ①>

- ・映画「痛くない死に方」の最初の事例をみて、どのようにしたら患者や家族にもっと寄り添うことができたか？

<テーマ②>

- ・映画「痛くない死に方」の2事例目のように理想の最期を迎えるためにはどのような連携、関わり方が必要か？



研修会の様子



討議結果の発表（グループ別）

(2) シンポジウム 『理想の在宅医療介護を目指して』

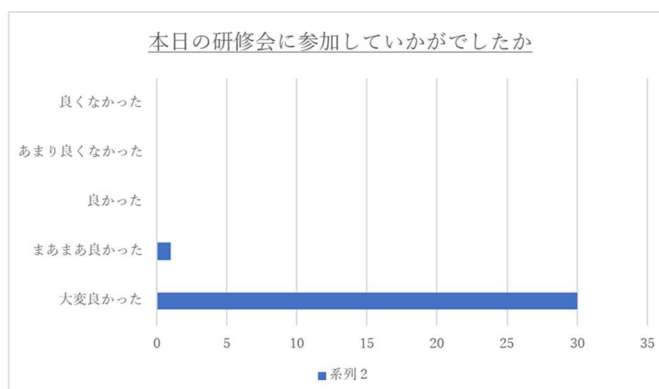
①座 長：熊本大学病院緩和ケアセンター長 吉武 淳教授

②パネラー：

- ・ひまわり在宅クリニック院長 後藤慶次医師
- ・訪問看護ステーションいきいきらいふ顧問 濱崎ももよ看護師
- ・メディカルサポライフ管理者 益永佳予子主任介護支援専門員
- ・南熊本調剤薬局（ファーマダイワ） 山下晃史 薬剤師

【アンケート】 Q：本日の研修会に参加していかがでしたか？

大変良かった	30名
まあまあ良かった	1名
良かった	0名
あまり良くなかった	0名
良くなかった	0名
計	31名



<参考>

■映画（DVD）「痛くない死に方～在宅医と患者と家族の物語～」（112分）

▷概要：「痛い在宅医」は、在宅医療の第一人者である長尾和宏氏のドキュメンタリーですが、在宅医療の在り方と失敗事例もあえて公開した異色作。

⑥ 在宅医療・介護連携推進に向けたニーズ等調査

熊本市南区地域包括ケアシステム推進方針の取り組み方針の一つである「医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり」の推進に向けて、南区内の医療介護従事者が、人生会議・終末期医療や看取り等に対して、どのような意向を持っているのか（どのように思い、どのように動いているのか）を把握するため、アンケート調査を実施した。

【調査期間】 令和5年2月2日（水）～令和5年2月28日（火）

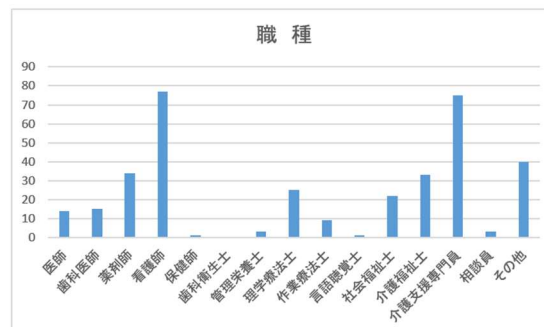
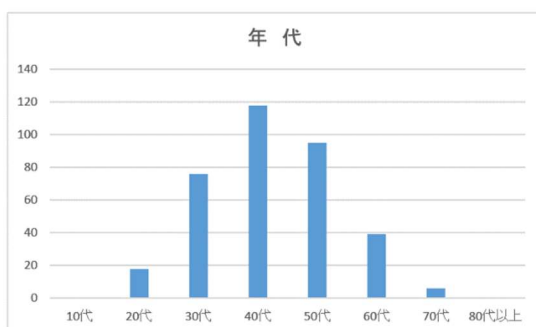
【対象者】 南区管内の病院・診療所・歯科等の医療機関、調剤薬局、介護関連事業所等に勤務する全医療介護従事者（事務職も含む） 合計 399 か所

・病院 16 か所 ・診療所 75 か所 ・歯科医院 60 か所
 ・調剤薬局 52 か所 ・介護関連事業所 196 か所

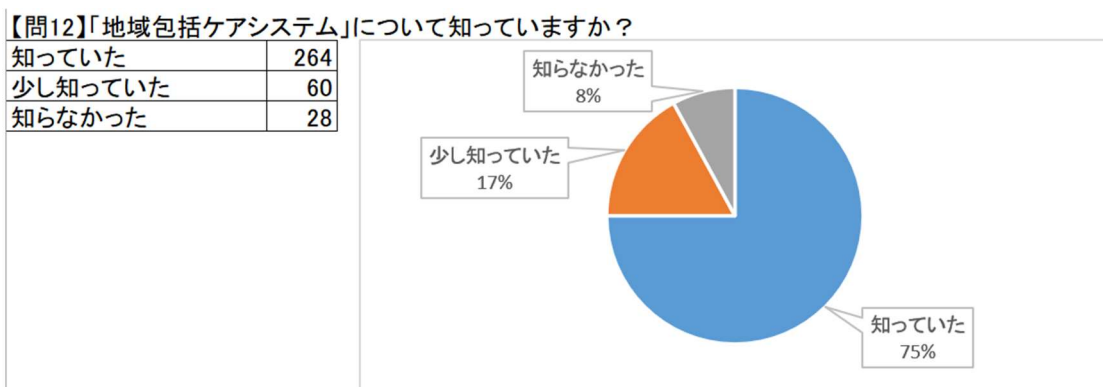
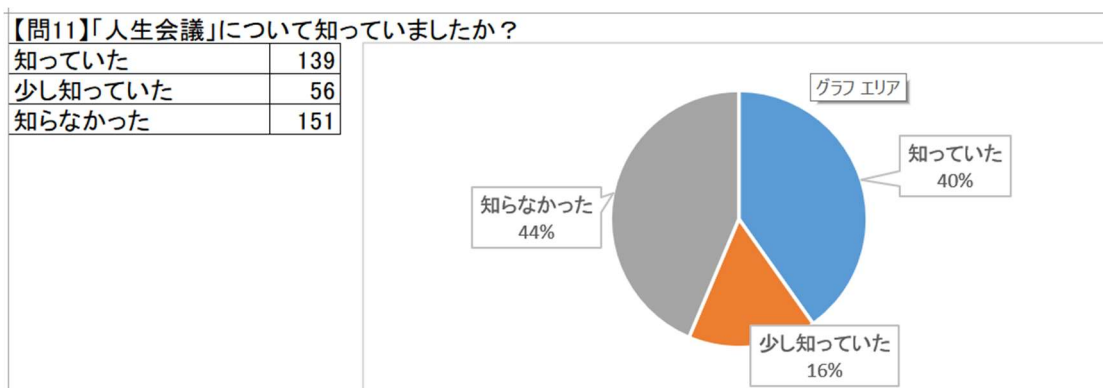
【回答概要】 352名

〔性別〕	・男性	149	・女性	202	・回答しない	1
〔年代〕	・20代	18	・30代	76	・40代	118
	・50代	95	・60代	39	・70代	6

〔職 種〕	・ 医 師	14	・ 歯科医師	15	・ 薬剤師	34
	・ 看護師	77	・ 保健師	1	・ 歯科衛生士	0
	・ 管理栄養士	3	・ 理学療法士	25	・ 作業療法士	9
	・ 言語聴覚士	1	・ 社会福祉士	22	・ 介護福祉士	33
	・ 介護支援専門員	75	・ 相談員	3	・ その他	40

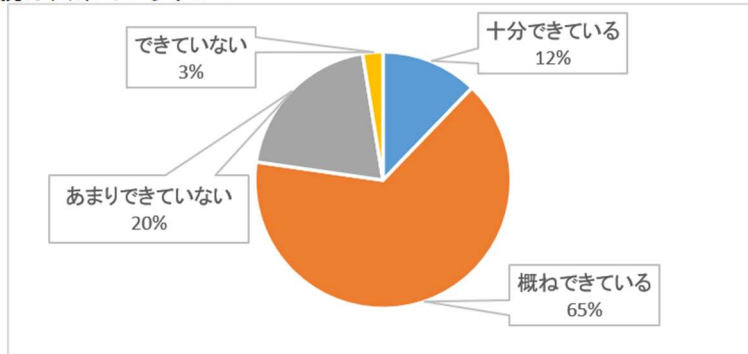


【主なアンケート結果】（一部抜粋）



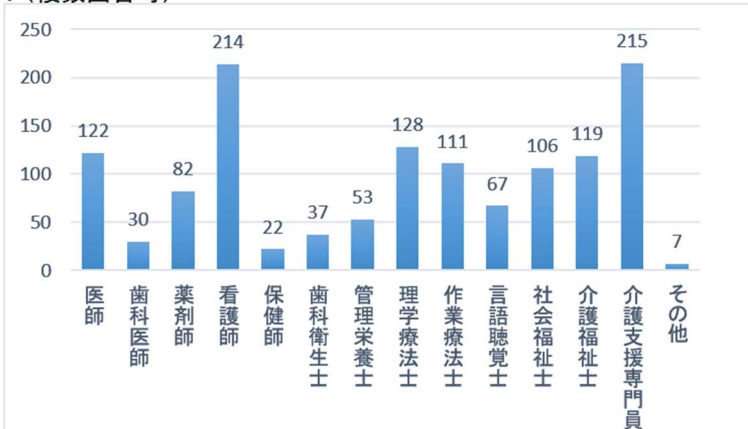
【問18】現在、他の事業所との連携は出来ていますか？

十分できている	43
概ねできている	229
あまりできていない	71
できていない	9



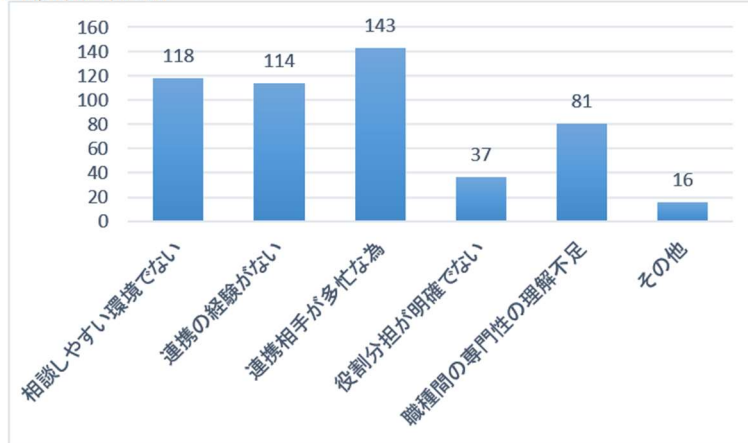
【問20】連携を取りやすい職種は？(複数回答可)

医師	122
歯科医師	30
薬剤師	82
看護師	214
保健師	22
歯科衛生士	37
管理栄養士	53
理学療法士	128
作業療法士	111
言語聴覚士	67
社会福祉士	106
介護福祉士	119
介護支援専門員	215
その他	7



【問22】連携を取りにくい理由は？(複数回答可)

相談しやすい環境でない	118
連携の経験がない	114
連携相手が多忙な為	143
役割分担が明確でない	37
職種間の専門性の理解不足	81
その他	16



⑦ 『私の思い』手帳の作成

南区独自の取組として、他都市を参考に携帯できる『私の思い』手帳^{※1}の試作品を作成した。今後、試行運用を行いながら調整を行う。

※1：メッセージノート別紙を基に、携帯できるサイズで作成するもの。

【試作品】

(表面)

認知症・神経難病・老衰の場合

機能が低下した状態が長く続き、ゆっくりとさらに機能が低下していきます。

心不全・呼吸不全の場合

急激な悪化と改善を繰り返しながら、徐々に機能低下し、最後は比較的急に低下します。

がんの場合

比較的良好な期間が続き、機能は保たれ、最後の2ヶ月位で急激に機能が低下します。

医療・ケアについての
『私の思い』手帳
.....Notebook for my Life.....

おなまえ

本手帳は、横浜市「もしも手帳」及び、熊本市「メッセージノート」を参考に作成したものです。
熊本市南区福祉課 096-357-4129

この手帳の使い方

『人生会議』はじめての一步

①健康もしくは持病があっても安定しているとき
あなたが、危篤状態で回復の見込みが乏しい状況になった時を想像してみます。その時、あなたはどのような医療や介護を希望するか、家族等大切な人と話し合っ『手帳』に書いてみましょう。

②医療や介護が必要になったとき
あなたの体や心の状態に合わせて、家族等大切な人や、医療・介護の専門職の方々と話し合っ考え、『あなたの思い』を書いておきましょう。

南区地域包括ケアシステム
推進委員
実務者会議

(裏面)

(初版 2022/11)

もしもあなたが、病気や老化等のために身体が衰弱し、これ以上治療しても治らないような人生の最終段階になった時、あなたはどのようにしたいですか？『今のあなたの思い』を書いておきましょう。

1 これからのあなたの人生、「最期はどこで、だれと、どのように」迎えたいですか？

質問① どこで

自分の家 病院 施設(特養・老健)
 老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅等)
 その他()

質問② だれと

※自分の思いを伝えている人・頼りにしている人
 親 配偶者・パートナー 子ども
 親戚 友人
 その他()

質問③ どのように

延命治療(できるだけ命を延ばす医療行為)
 延命治療せず、自然な経過に任せる
 緩和ケア(苦痛を和らげるような医療・介護)

2 そのとき、受けたい医療はありますか？ 当てはまるものに✓印をつけてください。(複数回答可 ※✓印は何度でも書き直して構いません。)

質問① □から食べることができなくなったとき

経管栄養(経鼻胃管)
 胃ろう
 特殊な点滴による栄養補給(中心静脈栄養)
 点滴による水分補給(手や足の末梢静脈等)
 □からとれるだけの水分等で自然に任せる

※本手帳は(裏面)は、熊本市「メッセージノート」を参考に作成したものです。
詳細は同ノートのP11～P15をご参照ください。

質問② 呼吸や心臓が止まったとき

気管内挿管
 心臓マッサージ
 電気ショック(AED)
 何もしません

質問③ そのときに、連絡してほしい専門職

かかりつけ医 ()
訪問看護師 ()
ケアマネジャー ()

話し合った日 (年 月 日)
話し合った人 ()
書いた日 (年 月 日)

取組方針 3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせる
まちづくり

(3) 認知症に関する正しい知識の普及

認知症サポーター養成講座の実施状況

	実施回数	参加者数
R4年4月～R4年9月	13回	277名
R4年10月～R5年3月	24回	1,014名
合計	37回	1,291名

〈主な参加者〉

- ・力合小4年生
- ・川尻小4年生
- ・熊本農業高校生
- ・御幸校区社会福祉協議会評議員
- ・ささえりあ幸田での認知症の方への声かけ体験者
- ・ケアサポートメロン利用者、家族
- ・南田尻（老人会、消防団、婦人会、子ども会）
- ・パストラルサロン
- ・イオンタウン西熊本テナント職員
- ・南区役所職員等
- ・力合西小4年生
- ・富含小4年生
- ・看護学生
- ・日吉小4年生
- ・隈庄小4年生
- ・南部在宅福祉センター
- ・とみあいば支え合い隊
- ・大工ノキ楽らくサロン
- ・熊本県医薬品小売商業組合

取組方針 4

高齢者が自らに合った暮らし方を選択できる
まちづくり（高齢者の住まい関連）

(4) 公共交通機関空白地域の高齢者（運転免許返納後等）の
移動手段の確保

乗合タクシー（デマンドタクシー）の運行状況等

ささえりあ 圏域	タクシー名	地 区	利用人数 (R4.4~ R5.1)	ささえりあの思い
ささえりあ 飽田	畠口乗合タクシー	畠口町 白石町	9	乗り場が不便(遠すぎる)、事前予約が面倒、 買い物は移動販売が便利との住民の声あり。
ささえりあ 城南	さくら号	藤山地区	2	住民からの問い合わせは少ない。 買い物のニーズは、移動販売が対応。 停留所までが遠い(歩けない) 予約が面倒、ルートが決まっている など使いづらさを感じる。
	みどり号	高・赤見 ・碓地区	38	
	杉上号	丹生宮 ・永地区	48	
ささえりあ 富合	釈迦堂号	釈迦堂地区	3	乗合タクシーが地域に浸透していない 乗り場が遠いためそこまでがいけない。 行き先が限られており、途中下車もできない。 行き先に需要がない。(もっと利用したい場 所がある) との住民の声あり、利用しづらい。
	西南号	莎崎・碓江 ・西田尻地区	2	
ささえりあ 天明	てんめい乗合タクシー	海路口・奥古 閑・銭塘 ・川口町	321	住民に乗合タクシー紹介するが、乗り場が 遠すぎるとの声あり。(主な利用希望者が要 支援1, 2の方が多いため)
	中緑乗合タクシー	美登里 ・中無田 ・銭塘・川尻 ・川口町	252	
	ながなす号	上内田 ・西新開地区	41	
	チョイソコ くまもと天明 (R4年度モデル事業)	天明地区 全エリア	934 (R4.11 ~R5.2)	乗り場が身近な所に設定されており、金額 的にも利用しやすい。

利用者数は、交通政策部 移動円滑推進課提供